

平成27年9月関東・東北豪雨による被害への災害派遣

日赤災害医療コーディネーター 松本 賢芳

台風18号の豪雨により、鬼怒川が決壊し常総市の中心部が水害にみまわれました。また、市役所などの行政機能、病院などの医療機能が喪失し甚大な被害となりました。

日本赤十字社は、9月10日から直ちに救護班を常総市に派遣しました。①避難所での救護所開設②基幹病院である医師会病院の病院支援③被災者や市職員に対する心のケア派遣。これらを3本柱に医療救護活動を行いました。

私は日赤災害医療コーディネーターとして、常総市の日赤現地対策本部に派遣されました。業務は、本部の管理、県・市・保健所などの関係機関との連携、医療救護班や心のケア班の調節や支援を行いました。

制度発足後、初めての日赤災害医療コーディネーターの活動となりました。今後は、この活動の経験を活かして来るべき大地震に対応すべく、災害医療体制の整備に努力していきます。